

# 宮城県仙台市宮城野区鶴巻一丁目公園仮設集会所で 「太巻き祭りずし作り方教室」行いました。

米穀機構では、被災地の早期復興を食の面から支援する取り組みとして、被災東北3県の岩手・宮城・福島各県の仮設住宅に居住されている方を主な対象に、千葉県の伝統郷土料理「太巻き祭りずし」の作り方教室を開催することとしています。

「太巻き祭りずし」は作って楽しい、食べておいしい、伝えて楽しい太巻きです。

第1回目として、宮城県で以下の通り開催しました。

1. 開催日時 平成25年9月28日(土) 10:00～
2. 開催場所 仙台市宮城野区鶴巻一丁目公園仮設集会所  
仙台市宮城野区鶴巻1-6-1付近
3. 協働者 西原町内会鶴巻東公園仮設住宅自治会  
NPO 法人生活習慣改善センター
4. 指導 千葉県伝統郷土料理研究会(講師4名)
5. 参加者 老若男女47名



6. 作った文様

桃の花



バラの花



このほか、「満開の桜」「はねうさぎ」「椿の花」「ハローウィン」を講師が実際に作るパフォーマンスを実施。

7. 開催概要
  - ①午前の部と午後の部の2回に分けて、講師1人と6人の仮設居住の方を1テーブル一組として、4テーブルで実施。2テーブルずつ各々の参加者が「桃の花」と「バラの花」を作って、出来上がった太巻き一本を半分に切って、違う文様を作ったグループと交換し、試食会を実施。
  - ②作り方教室では、各々のテーブル担当講師が参加者といっしょに、文様をゆっくり分かりやすく作ったことから、「思ったより簡単だった」「違う文様も作ってみたい」との感想がありました。
  - ③交流会では、自分で作った太巻きや講師4名が作った太巻きを「食べるのがもったいない」「本当に伝統文化だ」と言いながら、楽しそうに会食していました。  
興味を持った方が他の文様にもチャレンジできるよう「太巻き祭りずし作り方の本」を集会所に寄贈しました。